

2020年度事業計画書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

1、事業活動の方針

2020年は東京オリンピック開催で明るい兆しの年明けでした。しかし、12月末に中国湖北の武漢市で発生した新型コロナウイルスが、あっという間に世界中に拡散し、宮崎でも3月に感染者が発生しました。予定された行事や研修会、学会なども次々に中止や延期に追い込まれました。新型コロナは、多くの人は風邪症状のみで軽症だと言われていますが、重症化するとかなり厳しい結果になります。まだまだ大都市では予断を許さない状況が続いております。

この様なこれまでに経験したことのないウイルスの災禍に対して、**ゼロ歳から百歳まで**安心して暮らしていけるまちづくりを目指してきた当会の活動は、まさに正念場を迎えています。

「ホームホスピスカあさんの家」で暮らしている方々は、この新参ウイルスに対してはハイリスクの方々ばかりです。「かあさんの家」を安全ゾーンとして生活環境のあり様などをもう一度見直し、そして住人とスタッフの命を守る為に、「持ち込まない」「もらいに行かない」「スタッフの健康管理の徹底」を軸に対策を講じてまいります。

平成26年4月、橘通り東3丁目の実家跡地を宮崎のために活かすことはできないだろうかとの本部氏（かあさんの家のご遺族）の提案を受けて検討を進めてきた「ごちゃまぜプロジェクト」は、「**たちばな在宅総合支援ハウス**」として、設計施工の段階に来ました。訪問看護ステーションぱりおんを中心に、重度の障害を持った小児の在宅療養や、重度の障害をもった高齢者を含めたケアを実現するための一歩を踏み出します。在宅療養診療所の開設、小児、障がい者短期入所、日中一時支援・児童発達支援、それにカフェや研修センター等、多職種のプロジェクトメンバーで話し合ってきたことを、具体化し実施してまいります。

また、1998年より継続している**ボランティア活動やホスピスケアの啓発**と新たな人材を養成していく事業を今後も推進していきます。昨年度開催中止を余儀なくされた「がん患者サポーター養成研修会」、「ぴあ映画会と講演会」を本年度で実施いたします。また3年目となる「これからライフデザイン塾」は、昨年と同様に少人数のグループでじっくりと講座を受けるスタイルで開催します。

暮らしの保健室は、いろいろな方々が集う居場所です。「ゆるりサロン」、「えがおキッチン」や「セルフお灸教室」「ゆるり短歌会」など取り組みが定着し本年度も継続していきます。また、「宮崎市在宅療養支援相談事業」及び「宮崎県がんサポート事業・ふらっとカフェ」は行政と連携しながら実施します。がんや神経難病などこれ以上の治療はなく、これからの不安を抱えている人の様々な悩みや、重度の介護者を抱えているの方々に対してゆっくり話ができるような時間と空間を提供します。「ふらっとカフェ」は県立宮崎病院において、県の主催で月に1回がんサロンを開催していますが、その場を広げて暮らしの保健室の取り組みとして、若い世代のがん患者の「宮崎がんサークル shiny」への支援を行います。

事務局体制の強化を図り、JCNEの「非営利組織のためのグッドガバナンス認証」を目指します。組織基盤強化策として、会員管理業務、経理業務及び労務管理などの内容を労務管理事業所や税務会計事務所などと内容を吟味したうえで委託契約し、事務局の仕事のスリム化を図ります。また、子育てや介護を担っていても働きやすい職場としての就労環境の整備を行います。

2、事業の実施に関する事項（今年度は次のような項目を重点的に実施します。）

目的	事業名	事業内容	
① ボランティア活動	大切な人を亡くした方の集い 担当：脇坂峰子	毎月第4月曜日午前10時半～ 宮崎教会	
	患者らいぶらり 担当：峰 瑞枝	毎月第3木曜日 午後2時から4時 古賀総合病院内科病棟・産婦人科病棟 闘病記や絵本などの貸し出し傾聴	
	宮崎聞き書き隊 担当：井上直敬	・依頼のあった方を聞き書きする ・聞き書き例会の開催（第二日曜日） ・細見クリニック回想療法への参加	
	園芸ボランティア 担当：立川志乃	・宮崎市郡医師会病院新設移転に伴い、新病棟の園芸ボランティアの準備 ・新たなボランティアスタッフの募集と育成	
	ゆるりサロンボランティア ふらっとカフェボランティア かあさんの家ボランティア	・ゆるりサロンの運営のサポート ・がん患者さんやご家族の傾聴とカフェの運営 ・ご家族の庭の入れ、・看護学生の実習受け入れ	
② 教育プログラム	がん患者サポート事業 担当：太田幸子	・ワールドカフェ形式のセッション【期日未定】 「相手が話したくなるような「聞く力」 ～五感を取り戻すためのワークショップ～」 講師：秋山 正子 氏	事業委託 宮崎県
	ホスピスケア市民講座 「在宅医療という希望」 実行委員会設置	・映画上映会と講演 ・映画「ピア～まちをつなぐもの～」 期日：2020年7月23日（木） 会場：宮崎市民文化ホール	在宅療養支援事業 宮崎市
	これからライフデザイン塾 ～最後まで豊かな 人生を過ごすために～ 【候補内容】	・連続講座（10月～3月 計5講座） 会場：暮らしの保健室 ① 相続・終い方（金子聡・高橋好香） ② 人生の最後に医療とどう関われば良いか（藤木啓） ③ 聞き書き勉強会（小田豊二） ④ 朗読から（菌田潤子） ⑤ 地域とホームホスピスの役割（市原美穂） ⑥ 絵手紙年賀状を送ろう ⑦ しゃべり場	年賀寄付金配分事業 日本郵便
④ 地域に開かれた活動（エンドオブライフ） ケア支援事業	ふらっとカフェ （がんサロン事業委託） 担当：太田幸子	・がん拠点病院（県立宮崎病院） 毎月第2水曜日開催 サポーター…研修修了者5名、アロマボランティア3名 ・がん患者団体等との情報交換（AYA 世代お茶会 shiny） 暮らしの保健室 毎月第4土曜日	事業委託 宮崎県

目的	事業名	事業内容	
③ 地域に開かれた活動（エンドオブライフケア支援事業）	暮らしの保健室 <ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくり ・暮らしの保健室だより発行 担当：舟井美穂 ・えがおキッチン 担当：松井康代 ・セルフお灸教室 担当：園田清美 ・ゆるり短歌会 担当：堀越照代 ・AYA 世代お茶会 担当：太田幸子 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤江まちづくり推進委員会 ミニサロン（年1回） ・小戸の橋ストリートフェスティバル参加 ・年12回発行 ・年3回（不定期） ・年3回（不定期） ・隔月第2金曜日10時から12時 短歌集の作成 ・宮崎がんサークル shainy への支援（年12回） 	
	宮崎市在宅療養支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・患者と家族のためのよろず相談室 	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援など ・随時病気や介護の相談を受ける。 	宮崎市
	ゆるりサロン <ul style="list-style-type: none"> ・パッチワーク教室、 ・健康体操 担当：立川志乃	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護者、要支援でもなく、自分の身の回りのことはできるが、日中は一人暮らしで誰かと話をするともなく、食べることもつい億劫になる、そんな方が共に集って、一緒にランチ食べてお茶の間の居場所となっている。 ・地域包括ケアセンターとも連携を取りながら、ゆっくりした時間と空間を提供する。 	
④ こちやまぜプロジェクト	「たちばな在宅総合支援ハウス」 【メンバー】 堤育子、桐ヶ谷大淳 黒岩雄二、大西三紀子 岡元俊雄、川添英司 市原美穂、宇都仁恵 黒木智子、日隠由美子 広瀬知佳、岡田瑞穂 他 【予定事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養診療所の開設 ・小児、障がい者短期入所 ・日中一時支援・児童発達支援 ・カフェ ・研修センター ・移送サービス・保険外泊まり 	<ul style="list-style-type: none"> ・橘通東の本部邸の200坪の土地を借用して、療養通所 Lei Lei（仮称）及び、県内初小児在宅の訪問診療、近隣在宅医の不在時バックアップ機能を持つ、成人から小児までの在宅療養診療所「街なかクリニック」の開設準備を具体化する。 ・助成金（日本財団）の申請、実際の建物の設計、予算の策定、業者の選定、契約、施工を経て、来年6月の開設を目指す。 ・医療的ケア児の在宅療養の環境がまだまだ宮崎では整っているとは言えない。医療的ケア児や医療的依存度の高い重度介護者が在宅で暮らせる為の仕組みを作ることができるのは、療養通所である。実現に向けて取り掛かれるところから（短期入所等）、試験的に取り組んでいく予定である。 ・また、現地がデパートなどのある商業地域でありながら静かな環境でもあるため、街なかの特徴を生かした、自由に誰でもが触れ合う、カフェや障害をもつ人および親たちの働く場所になるのではと考えている。そのために多様な人が多様な利用をして、街の真ん中で過ごすことができる仕組みを具現化するために、設計の段階から検討していく。 	

目的	事業名	事業内容	
④ かあさんの家事業	かあさんの家の運営 かあさんの家・曾師 かあさんの家・霧島 かあさんの家・月見ヶ丘 担当：久保野イツ子 白波 さおり	<ul style="list-style-type: none"> ・介護スタッフの充足を図る。そのために多様な働き方に対応する環境整備を行う。 ・家族会の充実と交流会 ・運営の安定を図る。 介護保険と障害福祉サービスの検討 ・職員のケア水準の向上とスタッフの増員募集の工夫を続ける。 ・訪看ぱりおんのサテライト機能の準備 (かあさんの家担当の看護体制を組む) 	
⑤ 医療・介護保険事業	訪問介護ステーション ぱりおん 管理者：甲斐昌江	【内部研修】 <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ会議及びカンファレンスを通して、ケアの理念を共有する。 ・防災訓練（備蓄、消火訓練、避難訓練）・感染症対策 ・口腔・栄養管理の強化・薬についての知識を学ぶ 【外部研修】 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームホスピス実践者育成塾の受講 期日：2020年9月12,13,14日 ・第9回ホームホスピス全国合同研修会の受講 期日：2020年12月5,6日 会場：TKPガーデンシティ PREMIUM 天神カナル 	
	訪問看護ステーション ぱりおん 管理者：堤育子	<ul style="list-style-type: none"> ・重度の障害がある小児の在宅療養を支える。 ・療養通所介護の開設へ向けての準備 ・看護師新卒の人材育成事業 ・看護学生の実習受け入れ ・0歳から100歳までの医療充実のためのまちづくりを目指して、ネットワークをつくる。 ・宮崎小児在宅療養を支える会の運営 ・ショートステイの試行 	
	地域包括ケアシステムの構築 のための取り組み かあさんの家の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・医療との連携 ⇒かかりつけ医、訪問看護ステーション、訪問薬局、訪問歯科との連携 ・介護サービス事業所との連携 ⇒訪問リハ、福祉用具、デイサービス、デイケア、入浴サービスなどの介護保険のサービス事業者との連携 	

目的	事業名	事業内容	
⑥ ホームホスピス支援事業	日本財団 在宅ホスピスプログラム 研修担当：久保野イツ子 白波 さおり	<ul style="list-style-type: none"> ホームホスピス実践リーダー養成プログラム ホームホスピスリーダー研修生の受け入れ実施機関研修内容を組み立て計画に添って、指導や相談に乗りながら、ホームホスピス立ち上げまで助言指導する。 1名から2名の受け入れ 	
	ホームホスピス 推進センターの事業	<ul style="list-style-type: none"> 医学生・看護学生・介護職の実習の受け入れ実習計画を立て、かあさんの家での実習を指導。 	
	一般社団法人 全国ホームホスピス協会 事務局の機能 担当：黒岩雄二 岡田瑞穂 岩切知峰	<ul style="list-style-type: none"> 第4回ホームホスピス実践者育成塾の開催 期日：2020年9月12,13,14日 会場：日本財団ビル 第9回ホームホスピス全国合同研修会の開催 期日：2020年12月5,6日 会場：TKPガーデンシティPREMIUM 天神サテライト 	事務局の委託
⑦ 研究・啓発・情報・広報	認定NPO 寄付文化の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 賛助会員を増やす HPで、賛助会員や寄付の呼びかけ ファンディングの活用 	
	「かあさんの家」見学及び 研修の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> 見学・現場実習等受け入れ 研修医の受け入れ（平塚共済病院研修医2年目） 他施設職員現場研修の受け入れ 	
	ホームページの充実 制作：黒岩雄二 ニュースレターの発行 担当：岡田瑞穂	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの運営 全国のホームホスピスとのリンク 年2回発行 (プリントの質の向上を図り、見やすくする工夫) 	
	総務部門 事務局業務の増加に伴い 事務局体制の強化を図る 理事会のもとに、「運営 委員会」を置く。 運営委員： 市原美穂、久保野イツ子 吉村照代、立川志乃 黒岩雄二、堤育子 白波さおり、甲斐昌江 職員体制：事務局長1名 経理担当事務1名 総務担当事務2名	<ol style="list-style-type: none"> 会議の業務 <ul style="list-style-type: none"> 定時総会の開催 期日：5月30日（土）午後2時から3時 会場：暮らしの保健室 理事会の開催（年3回予定） 運営委員会の開催 ・事務局会議の開催 会員管理業務 経理業務 労務管理業務 就業規則を見直し、適切な労務管理、 多様な雇用体制の検討 総務関連業務・・・届出等 	